

科学者委員会 学術体制分科会  
論文査読の意義及び課題に関する検討小委員会 第3回 議事要旨

開催日時：2023年3月24日（金）17:00-19:00

開催場所：オンライン会議

出席者：佐々木 裕之、小長谷 有紀、小林 傳司、松井 三枝、和田 肇、山本 晴子、大場 みち子、堀 利栄、中村 征樹、田中 智之（敬称略）

参考人 2名

1) 前回議事要旨の確認

前回議事要旨について確認した。

2) 参考人の意見聴取及び意見交換

2名の参考人より意見聴取した。

委員会内意見交換

- ・ 研究者が極めて多忙なため、査読の状況も過酷で、Editor の経験からは、10人以上に査読を断られることもある。
- ・ 研究者個人の負担が限界にきているのは事実。査読者を単独とせず研究グループで受けるなど、ある程度の工夫はできるのではないか。
- ・ 査読に対するインセンティブがあれば、という話があったが、大学や部局によっては査読やEditorの仕事も評価してインセンティブを与える制度を持っている。
- ・ 研究不正対策として研究者を教育せよという話になるが、これ以上研究者教育を増やすのも限界にきている。研究室の中で問題点を議論できるように風通しをよくするなど、研究環境自体をよくすることも重要ではないか。

資料：資料1 第2回議事要旨（案）